

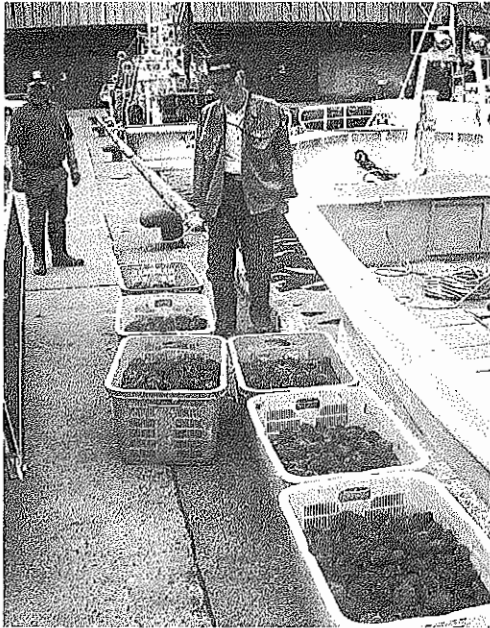
ウニ 300キロ密漁

釧路署2人逮捕 高値が背景か

釧路港周辺

釧路港周辺で今月中旬、密漁されたとみられる大量のウニが見つかった。発見されたのはエゾバフンウニ約300キロで背景にはウニの価格高騰があるとみられる。地元漁業者らが見回りを強化したのが功を奏した形で、釧路署などとともにさらなる密漁防止へ警戒を強めている。

漁業関係者によると、見



釧路港周辺で密漁されたウニ。価格の高騰も密漁の背景にあるとみられる

つかったウニ計300キロの市場価格は約90万円相当という。釧路署は道海面漁業調整規則違反(密漁)の疑いで、26日までに日高管内の無職男2人を逮捕した。2人は17日未明、釧路市益浦2付近の海岸で密漁したウニを所持した疑い。海岸に設置されたレーダーステムが不審な船の進入を感じ、漁業者が現場に駆け

つけてウニを発見。釧路署に通報して逮捕に至った。漁業情報サービスセンター(東京)によると、道内産のウニはしげが多かった影響で、卸売平均価格(むき身)は1キロ当たり約9500円と、昨年より8割ほど価格が高い状況。高値のため密漁対象として狙ったとの見方もある。ウニは漁

業者が数年間育て秋に出荷する間近だった。釧路市漁協は「2年半〜3年ほどかけて育ててきたウニを横取りする行為は許せない」と怒りをあらわにしている。同漁協の漁業者は毎年、港の漁船が減り狙われやすくなるお盆の時期、見回りを実施し密漁対策を強化している。犯行当日も5、6人が2グループに分かれて見回りを行っていた。

(館山彩佳)